

【正誤表】 訂正してお詫び申し上げます。

ページ [143] (誤) **7** の解説が抜けています。
(正) 解説は以下の通りとなります。

平成 30 年度 後期入試 算数・解説

7 (1) 1 枚目の画用紙の横の長さは 45 cm である。
2 枚目からは、のりしろが 2 cm であるため、横の長さは 43 cm ずつ長くなっていく。
よって画用紙が 5 枚である時の横の長さは、
 $45 + 43 \times 4 = 217\text{cm}$

答. 217 cm

(2) 1 枚目の画用紙の面積は $20 \times 45 = 900 (\text{cm}^2)$ である。
2 枚目からは、のりしろが 2 cm であるため、面積は $20 \times 43 = 860 (\text{cm}^2)$
ずつ増えていく。よって面積が $8640 (\text{cm}^2)$ であるときの画用紙の枚数は、
1 枚目の画用紙に、 $(8640 - 900) \div 860 = 9$ 枚の画用紙をつなげたことが分かる。
よって画用紙の枚数は 10 枚。

答. 10 枚

【正誤表】 訂正してお詫び申し上げます。

ページ [178] (誤) **7** の数学・解説は **6** の誤り。
(正) **6** の数学・解説は以下の通りとなります。

平成 29 年度 推薦入試 算数・解説

6 (1) 高さを cm とすると、面積が 64.8 cm^2 であるから、

$$(8.5 + 9.5) \times \text{input} \div 2 = 64.8$$

$$18 \times \text{input} = 64.8 \times 2$$

$$18 \times \text{input} = 129.6$$

$$\text{input} = 129.6 \div 18$$

$$\text{input} = 7.2$$

答. 7.2 cm

(2) 半円の曲線部分の長さは、
 $6 \times 3.14 \div 2 = 9.42 \text{ cm}$
直線部分の長さは直径なので 6 cm
周りの長さは、
 $9.42 + 6 = 15.42 \text{ cm}$

答. 15.42 cm

(3) 正方形の対角線はそれぞれ 20 cm になるので面積は、
 $20 \times 20 \div 2 = 200$

答. 200 cm²

(4) (ア) 3 つの立体の体積をそれぞれ求めると、

① $6 \times 6 \times 6 = 216 \text{ cm}^3$

② $8 \times 6 \times 5 = 240 \text{ cm}^3$

③ $3 \times 3 \times 3.14 \times 8 = 226.08 \text{ cm}^3$

答. ② ⇒ ③ ⇒ ①

(イ) 上記の結果より、

$$240 - 216 = 24$$

答. 24 cm³